



産業建設常任委員会
 ▼▼▼ 11月15日開催
 【現地視察】
 びっぷスキー場センターハウス
 愛称 「スキップ」

レストランほくれいロジカウンターの前には広々とした休憩所があります。



委員会の活動

activities



西部・南部には、馬追丘陵が広がっています。
【産業と特産品】
 基幹産業は水稲を中心に、ナラの原木による椎茸栽培や、食用ほおずき、カスミ草、などの切花とハーブ関連の商品などで、平成21年度からは、「やっぱり由仁のものがいい」を町全体で事業推進しています。

【観光】
 「ユンニの湯」や英国式「ゆにガーデン」オートキャンプ場、いちご・りんご・ぶどう狩り等ができる「観光農園」など、町内外からの多くの来場者を迎えています。

【調査内容】
 ＊移住定住対策への経過と取り組み
 由仁町では、平成7年度に全農家を対象とした「農地の流動化に関する調査」を行い、潜在的な理由で離農予定者が向こう10年間で、約500戸の農地が、遊休化するという深刻な結果と札幌市在住の方から、500坪程度の家庭菜園付き住宅で、定住を希望するニーズがあり、過疎化の解消や農地荒廃化防止による、「農地付き住宅推進調査」を（町・道・開発局・道工大・

コンサル会社）と平成9年にプロジェクトチームを編成し、農地の有効活用を目標としたが、「農振整備法」や「農地法」の制約があり、事実上は不可能と結論付けられました。



平成10年7月に「優良田園住宅建設の促進に関する法律」が施行されたことを基に、田園住環境の形成を通じて、定住の促進や交流人口の拡大など、新たな地域づくりへの可能性と定住

計画を再構想する一方、土地利用の混乱・優良農地の分断、環境や景観の悪化等が懸念され、「優良田園住宅建設の促進に関する基本方針」を作成し、計画認定制度を実施しました。

平成12年3月から、全国に移住希望者を募集し、第1期目の計画8区画には145組の応募があり抽選を行い、平成14年3月に住宅建設が完了され、同時に第2期目の計画18区画には103組の応募があり、平成16年3月に建設を終えました。第3期達成までを計画していましたが、民間企業が事業の継続を希望し、平成21年7月、3期目の

「ゆにビレッジ」の募集が開始され、現在26区画中11区画が売却済みとなっています。
【委員会所見】
 比較的市街地からも近く、自然豊かで良好な環境が形成さ

れ、近隣には公民館・小学校のほか、町立病院やJR駅や商店街とも近接し、全ての移住希望者（建築主）が管理組合を組織し、コーディネート（建築士や専門家）の助言を得ながら、環境整備、区画割り、土地取得から建設まで、アドバイスを行うコーポラティブ方式を採用し、新たな住宅地形成への取り組み、環境・景観に配慮した緑化対策、特に既存の居住者との連携や融和・地域コミュニティの拡大などに配慮し、さらなる良好な居住環境の展開形成が見込まれ、優良田園住宅街のさきがけとして、今後も期待をしております。

また、由仁町地域おこし協力隊、第1号として平成26年7月より着任したNPO法人ユニライズ代表理事の橋本直樹氏（東京都生まれ42才）の活動も、町と併用した移住定住に関するの取り組みを行い、SNSや広報誌を駆使した、由仁町内の情報の発信、若者が移り住み定住できる町、起業を含めての定住事業を商工会青年部と合同で「創業チャレンジ塾」を展開し町内外より注目と話題を広げています。

総務常任委員会
 ▼▼▼ 11月25日開催
 第5回臨時議会提出議案について

【税務住民課】
 30日開催

《報告事項》
 平成28年度（10月末）町税及び収入状況について

・町民税 収入済額	7千986万6千345円	54%	38%
・固定資産税	7千876万20円	59%	18%
・軽自動車税	1千229万4千763円	95%	76%
・たばこ税	1千703万6千383円	100%	
・国民健康保険税	5千451万3千858円	37%	18%
・介護保険料	4千866万7千800円	94%	10%

総務常任委員会
 ▼▼▼ 11月29日開催

《報告事項》
 比布町税条例の一部改正（案）について

《保健福祉課》
 《報告事項》
 （福祉係）
 ・平成28年度高齢者等の門口除雪事業について
 （保健係）
 ・各種検診受診状況について

後期保険料
 1千714万4千700円

上川広域滞納整理機構について

・機構全体	218件
引受件数	1億3千566万2千956円
収入額	4千464万1千566円
・比布町分	32%
引受件数	18件
収入額	673万8千166円
マイナンバー交付状況について	47%
・平成28年交付状況	87%
・総交付数 合計	186件